蓮沼地区地域審議会 会議録

会議の名称	蓮沼地区地域審議会（平成20年度第1回）		
開催日時	平成20年 5月23日（金）	開会	15時40分
		閉会	17時00分
開催場所	成東保健福祉センター 第2保健指導室		
議長氏名	今 関 紘		
出席者氏名	別添出欠席者名簿のとおり		
欠席者氏名	〃		
事務局氏名	〃		
会 議 事 項	議 題	会議結果	
	(1) 会長・副会長の選出について (2) 第1期地域審議会の経緯、今後のスケジュールについて	(1) 会 長：今関 紘 副会長：石橋 宏 (2) 了承	
会議の経過	別添会議経過のとおり		
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蓮沼地区地域審議会の経緯 ・ 平成20年度各地区地域審議会スケジュール ・ 		
その他必要事項			
会 議 録 の 確 定			
確 定 年 月 日		署 名 委 員	
平成20年 8月 6日		秋 葉 修	
		石 橋 滝 夫	

出 欠 席 者 名 簿

蓮沼地区地域審議会委員		
職 名	氏 名	出欠
会 長	今 関 紘	○
副会長	石 橋 宏	○
委 員	秋 葉 修	○
委 員	石 橋 滝 夫	○
委 員	金 杉 倫 江	○
委 員	川 島 光 夫	○
委 員	森 口 三 郎	○
委 員	山 崎 清	○
委 員	浅 野 三 夫	×
委 員	飯 島 正 夫	○
委 員	土 屋 健	○
委 員	藤 井 宗 二	○

執行部・事務局		
所 属	職 名	氏 名
蓮沼出張所	所 長	椎 名 和 幸
〃	主 査	樋 口 義 幸
企画政策課 企画係	主査補	田 中 英 紀

出席職員数 3 名

出席 11 名 欠席 1

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>それでは、先ほどに続きまして地区別会議を開催させていただきます。少し定刻前でまことに恐縮でございます。</p> <p>私は、後半の地区別会議の進行を務めさせていただきます蓮沼地区出張所長の椎名でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それではまず、会議に入る前に、初めて顔を合わせる方もいらっしゃるかと思いますので、各委員さんの簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、秋葉委員さんの方から順番によろしくお願いいたします。</p>
秋葉委員	<p>秋葉と申します。地域審議委員のほうは、観光協会の会長ということで出席させていただいておりますけれども、観光協会のほうも、正式ではありませんが、一応、山武市観光協会として、夏前には合併する予定になっており、その後どのようになるかわかりませんが、よろしくお願いいたします。</p>
石橋委員	<p>石橋と申します。農業のほうの代表で、この地域審議委員になっております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
金杉委員	<p>金杉倫江です。学童保育の仕事についていまして、そのほうで、一応、こういうお役目をいただいております。主婦とか女性を対象にしているいろいろご意見を聞いていきたいなと思って、これからよろしくお願いいたします。</p>
川島委員	<p>川島です。区は、殿下です。民生委員児童委員をやっております、今現在は、蓮沼地区会長をやっております。初めての会議ですので、よろしくお願いいたします。</p>
森口委員	<p>森口です。区長会のほうから選出されました。よろしくお願いいたします。</p>
山崎委員	<p>山崎です。私は、山武市体育協会蓮沼支部の支部長としまして2期目、この前の総会で3年目を迎えさせていただいております。ことしから審議委員ということで、内容はわかりませんが、よろしくお願いいたします。</p>
飯島委員	<p>飯島です。学識経験者ということで、1期目から委員をしております。よろしくお願いいたします。</p>
石橋委員	<p>飯島さん同様、私も2期目に入りました。石橋でございます。またよろしくお願いいたします。</p>
今関委員	<p>南浜の今関です。私も2期目に入りまして、また、合併協議の時から委員をさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
土屋委員	<p>南丘の土屋です。金杉さん、川島さん、森口さん、山崎さん以外は初めてということですが、私は公募で、一応、選考されて、蓮沼の皆さんにご恩返しをしたいと思い、そのスタートを原点にかえて張りたいと思います。</p>
藤井委員	<p>川面地区の藤井でございます。私は、こちらに引っ越してきまして約20年近くになるのですけれども、それまでは、もう古い話ですけれども、美</p>

	<p>濃部東京都知事に呼ばれまして、東京都の福祉行政と民生行政をやらされました。厚生省の個別の職員養成所に留学しまして、そこで本格的に福祉行政をやれということで。最後は、相談員だとか、それから、施設担当ですね。皇族が入っている、そういうところを任せられて、そういう面で、私は歴史に非常に興味があったものですから、天皇家についていろいろな勉強をしたものです。</p> <p>現在、先進国は全部あるのですけれども、アメリカの35代大統領のジョン・F・ケネディーの平和財団というものがございます。日本だけなかったのですけれども、3年前に、ようやく東京にできまして、ワシントンのほうから辞令が出まして、ケネディー大統領の平和の育成を続けてほしいということで、時たまアメリカへ行きますけれども、そういうことで、日本では大学の福祉学部の講師だとか、民生委員の講師とか、公安委員会の講師とか、同和、東京都は特に多いです。同和対策の講師をやっております、そういうふうなことで、福祉の現場と教育研究の現場と両方歩いてまいりました。2期目です。よろしく願いいたします。</p>
事務局	事務局のほうの紹介もこの場をかりてさせていただきます。
企画政策課	前年度より地域審議会のほうを担当させていただきます企画政策課の田中と申します。また本年度もよろしく願いいたします。
蓮沼出張所長	蓮沼出張所の椎名です。よろしく願いいたします。
蓮沼出張所	続きまして、同じく蓮沼出張所の樋口でございます。どうぞよろしく願いいたします。
事務局	それでは、委員さんには自己紹介をまことにありがとうございました。
	それでは、お手元の会議次第に従い、議事に入らせていただきます。
	まず、地域審議会の設置に関する協議第7条第1項の規定によりまして、会長の互選をいただきたいと存じます。
	つきましては、そのための座長を選出していただきたいと存じますけれども、どなたかいらっしゃいますでしょうか。
	（「一任」の声あり）
事務局	一任という声がございますけれども、いいですか。
	それでは、会長が選出されるまで事務局のほうで進行をさせていただきます。よろしく願いいたします。
	それでは、会長の選出まで座長を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。委員の皆様方のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。
	それでは、会長の選出につきましてご審議をいただきます。
	先ほど説明がございましたように、地域審議会の設置に関する協議第7条第1項の規定により、会長は委員の互選により定めとなっております。どなたか適任と思われる方がおられれば、お名前を挙げていただけないでしょうか。よろしく願いいたします。
	なお、その際は、挙手の上、お名前を述べてからご発言されるようよろ

石橋委員 事務局	<p>しくお願い申し上げます。 今関さんをお願いしたいと思います。 ただいま今関委員さんに引き続きお願いしたいというご意見がございました。</p>
事務局	<p>(「異議なし」の声あり) それでは、全会一致をいただきましてありがとうございます。 それでは、今関委員さん、蓮沼地区地域審議会の会長としてご就任願えますでしょうか。</p>
事務局	<p>(拍手あり) ありがとうございました。それでは、会長より就任のごあいさつと開会をお願いしたいと存じます。</p>
会長	<p>なお、会長が決まりましたので、これをもちまして私の座長の職を解かせていただきます。ご協力どうもありがとうございました。 それでは、会長、よろしく願いいたします。 それでは、ごあいさつを申し上げます。 前回も地域審議会に皆様のご厚意をいただきまして会長に就任させていただきました。この会が実りあるものになるためには、皆様の温かいご協力とご支援がなければなりませんと思います。蓮沼がいい環境になったというように重い責務を私どもは持っております。ひとえに、蓮沼だけではなく、それが山武市というものがこの2年間、どのように運営されていくかということについても、皆様のお心配りをいただかなければならないということでもあります。公の機関として、市長に提言をする唯一の機関であります。議会があるわけでございますけれども、議会はさまざまな権力を持って、意思を決定するというようなことにご努力なさっているわけでもありますけれども、少し大げさに言えば、私どもも、決して、それにひけをとらないぐらいの力を与えられている組織であるというふうに思っております。皆様のご研鑽がもう2年後にさまざまところで提言をいただき、それが市に反映され、市が生き生きとしていくという大元になっていくはずだというふうに確信をいたしておりますので、どうか皆様の温かいご協力をいただけたら幸いです。よろしく願いいたします。</p>
土屋委員	<p>それでは、会議を始めさせていただきます。 議題1の会長は私が皆様にご一任をいただいたわけでありましてけれども、副会長を皆様にお諮りをさせていただきたいと思っております。 この前は、元助役さんであった朝日さんがおやりになっていたのですが、今回はいらっしゃいません。2年間の委員をさせていただいて、またいろいろ提言をいただいております、また、大学など、生涯教育の講師もやっております。いろいろと広くいろいろな面で豊富な知識をお持ちになっていらっしゃるので、石橋さんをお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>ただいま土屋委員から石橋さんというご提案がありました。皆様、いかがでしょうか。</p>

会長	<p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>ありがとうございます。それでは、石橋さん、副会長のほうをよろしく願いたいと思います。</p>
副会長	<p>皆さん、そうおっしゃっていただいて、それほど私も余り知識もなくしてお役に立てるかどうかわかりませんが、精いっぱい努力させていただくことでご了解いただきたいと思います。よろしく願いたいと思います。</p>
会長	<p>(拍手あり)</p> <p>それでは、議事録署名人の選出をいたしたいと存じます。 山武市地域審議会運営要綱第2条の規定により、会議録の署名委員2名を使命させていただきます。</p>
企画政策課	<p>今回は、秋葉さんと石橋さん、お二人に願いたいと存じます。よろしく願いたいと思います。 ありがとうございました。 事務局より会議録案が作成されましたら、後ほど、署名のほうをよろしく願って申し上げます。 それでは、議題の2のほうに入らせていただきます。 第1期地域審議会の経緯、今後のスケジュールについて、事務局よりご説明をいただきたいと思います。よろしく願いたいと思います。 私、田中のほうから説明させていただきます。 地区別会議資料の蓮沼地区地域審議会という資料をご用意させていただきましたので、1枚めくっていただきたいと思います。 1枚めくっていただきますと、その裏に、第1期、平成18年と19年とに行われた蓮沼地区の地域審議会の経緯についてをまとめてありますので、こちらのほうをもとに簡単に説明をさせていただきたいと思います。 まず、第1期の蓮沼地区地域審議会においては、15名の委員をもって構成されておりました。委員の構成は、公共的団体の代表が6名、学識経験者が4名、公募の委員さんが5名で構成されています。 地域審議会自体は6回開催されております。その他、勉強会等を4回開催しています。その開催の経緯については、1のような内容で、第1回から第6回までの内容を掲載しておりますので、こちらのほうはごらんになっていただければわかるかと思っておりますので、説明は割愛させていただきます。 なお、平成19年5月15日と平成19年12月13日に、それぞれ意見書を出されておまして、5月15日については、地域におけるまちづくりに関する意見書という形で出されておられます。また、12月については、地域の発展、活性化に関する事項についての意見書が出されています。 その意見書の内容については、その次のページを見ていただきますと、まず、5月15日に出されておられます意見書の写しをそのまま添付してありますので、こちらを見ていただければありがたいかなと思っております。 簡単に意見書の内容を説明しますと、5月15日に出された意見書について</p>

では、まず1点として、観光を拠点としたまちづくりについて、2番目として、子育て環境の改善について、3番目として、航空機騒音の改善について、4番目として、旧蓮沼村役場の空き室の有効利用についてを意見として提出しております。

また、12月13日に出された意見書については、主要地方道飯岡一宮線バイパスについての意見が出されております。

なお、5月に出された意見書については、平成20年3月に確定されました総合計画の中の主要基本計画のほうに反映を位置づけられて、今後、対応していく形となっておりますことを、この場をかりてご紹介させていただきます。

なお、総合計画の説明については、先ほど、全体会議の中で課長のほうからスケジュールの説明があったとおり7月を予定しておりますので、その中でまた詳しい説明があるかと思っておりますので、そのとき、また再度、質問等ありましたらお願いしたいと思います。

まず、会議の開催の経緯について、説明を終わらせていただきます。

なお、この審議会の中で継続審議事項として幾つか第1期の中で残っておりますので、その説明をさせていただきますと、まず、第5回時に行われた会議の中で、蓮沼出張所の空きスペースの有効利用について、まだ意見調整を図る必要があるということで継続審議とされています。

また、第6回においては、地域の環境問題と絡めた決意書に関する意見というものについても、今後のあり方を検討する必要があるのではないかということで、継続審議事項として2点ありますことを、この場でご説明させていただきます。

一応、以上で経緯のほうの説明を終了させていただきます。

引き続き、平成20年度の審議会のスケジュールについても、案ですが説明させていただきます。

一番最後のページになります。

まず、平成20年5月23日、本日ですが、各地区地域審議会の合同会議が行われました。それを受けて、第1回の各地区別の会議においては、会長、副会長の選出がされているところです。その会長、副会長の選出を受け、今後、各地区の方針的なものとか、そういったものの確認、こういったものが再度、各地区でそれぞれの地区4地区の中で調整を図る必要があると思われることから、来月、20年の6月、まだ日程が決まっておりますが、6月において、各地区の会長及び副会長の合同会議を予定しております。この中で、今後のスケジュール的なものとか、そういった各地区の個別の問題とかいろいろとあると思っておりますけれども、どういうふうな形でそれぞれ進めていくのかというのは、この場の中で協議されるようになっております。

20年7月には、先ほど説明しました総合計画の冊子のほうが6月末ぐらいにきちっとしたものが今印刷をかけて、それができ上がる予定でございます。

	<p>ます。それを受けて、配付を兼ねて、また説明をさせていただく機会を持ちたいと思っております。</p> <p>それを受けて、8月ごろから各地区において具体的な審議が行われる予定としています。第2期の皆様方に、各地区それぞれ統一的な目標として取り組んでいただきたい事項が新規事項に記載させてありますように、地域振興のための基金の活用と基金が活用されることよっての効果というのがどういったものがあるのかという内容について審議していただければありがたいかなというふうな形で事務局のほうでは考えておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>以下の事項については、地域審議会の中で協議される事項についてを並べておりますので、ごらんになっていただければおわかりになるかと思っております。</p> <p>一応、簡単ではありましたが、私のほうからの説明は以上とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>この会議は、限られた時間の中で行いますので、できるだけ簡潔にご発言をいただければと思います。</p> <p>それでは、意見交換のほうに入らせていただきまして、今までの事務局の説明、それから、今後の私たちが進んでいく方向などについて、皆様からご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>その前に、私のほうから少し申し上げたいと思っております。</p> <p>事務局のほうから2点について、継続審議になっているというようなこともありました。前回の会議において、最後に飯島委員のほうから、合併したからできたというような種目についてチャレンジしてみてもどうかというような意見がありました。これは、農業集落排水について検討してはどうかということでもあります。そのときは、時間もありませんでしたので、新たに私の継続事項とさせていただいて、それについて、きちっとしたものをお互いに勉強し合おうじゃないかということでもありました。</p> <p>今、ここにスケジュールがあるわけでありましてけれども、これを今後、皆さんと協議することになりますが、勉強会ということで開催するのは、どうでしょうか。皆さんのご都合で、昼間ではどうもというようなことがあるとすれば、夜でもいいのではないかなと。勉強会については公式な会議ではありませんので、事務局は大変でしょうけれども、そのことについて、皆さんにまずお尋ねをしようかなと思っておりますので、ご意見をいただこうと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>石橋さんみたいに昼間忙しいかた、大雨が降っていればあれですけども、そういうときに来るのもあれだし、昼間、活動している人もいらっしゃるわけですから、夜のほうがいいと。石橋さんやなんかは、我々は時間が自由ですけども、一番活躍している方のご意見をお聞きしたいです。</p>
<p>土屋委員</p> <p>石橋委員</p>	<p>ただ、1人でも多く出席できたほうが良いのではと思います。</p>

会長	<p>とりあえず、私としては、農業集落排水についての勉強会を開きたいと思っておりますが、事務局では、どのぐらいあればよいですか。いろいろな資料をそろえられるかどうか。どうでしょうか、今からそろえたとして。</p>
事務局	<p>委員の皆様にご連絡する時間もいただいて、6月の終わりか7月上旬くらいには可能です。総合計画の説明会を7月に予定しておりますので、そういったことも考慮して、その前でもいいですし、後でもいいです。それぐらいの時期であれば対応は可能です。</p>
会長	<p>事務局のほうから今、そんな話がありましたので、大体そのぐらいのところで会議を開いて、皆様のご予定をいただきたいというふうに考えております。よろしいですか。</p> <p>では、そのぐらいで、スケジュールを入れてください。</p> <p>それでは、皆様に、それ以外のことで意見交換をいただきたいと思っております。</p>
飯島委員	<p>地域振興のための基金というのが出ていますね。もう1回、説明していただきたい。</p>
会長	<p>それでは、事務局よろしいですか。</p>
事務局	<p>どの程度のお話をいたしましょうか。</p>
会長	<p>それでは、私のほうから。今、飯島委員からお話がありました地域振興基金についてですが、20億円積んでいくということでありまして。その中で、最終的にどのぐらいまでをこの基金として積んでいくかどうかということが1つ。何年間ぐらいを、基金の総額でどのぐらいを充てていくかというのが1つ。それから、約2,500万円の運用益によってということでありましてけれども、それが、例えば積み上がっていくのが総額としてどのぐらいまで、どのぐらいの期間でできるかによって、運用益の出る時間というのが違ってきますから、そうすると、それによって、これから将来の運用益の使い方というの、議論の中で計画的にできるというようなこともありますので、その辺のところも含めてお考えをいただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>それでは、総額がどれぐらいなのかということなのですが、細かい資料がなくて概算的なお話になるのですが、総額では28億円で当時の合併協議の中で定められております。そのうち、18、19年で10億円ずつ積み立てて、残りの8億円については、今のところ、これから四、五年程度は基金の積み立ては、先延ばしさせていただいており、直近では計画しておりません。</p> <p>今、現状では、20億円を基金として積み立てており、約2,500万円の運用益が発生しております。それは20年度で発生しますので、一応、事務局のほうの考えでは、一番早くとりかかるとして、21年度事業からという形で、財政課と協議しております。</p> <p>また、この地域振興基金の運用益の使い方ですけれども、やはり、継続した地域活性化のためのソフト事業ということで使用していただく目的で</p>

	<p>ありますから、約2,500万円はこれから運用益で発生しますので、継続した形で計画的に活用して、これから先、ずうっと同じように行えると考えてもらって構わないと思います。</p> <p>ですが、約2,500万円は、あくまでも山武市全体の中での活用額となっていますので、各地区においてはどれぐらいとか、地区別でやるのか、それとも全体的にやるのか、そういったところは、それぞれ地域振興基金の活用の方法については、まだ、固められていませんので、全体で使っても、各地区で使っても構いません。なお、その使い方については、今後6月に各地区の会長、副会長会議がありますから、その中で、一応、どういう方向性を持って、この活用の方法をしていくのかというのは協議をしていただく予定でいます。ということから、審議会での検討事項が事業のどのレベルまでの話となるのかの基礎部分については、4地区の会長、副会長の会議の中で、予算的な部分も踏まえて、方向性の協議をお願いする予定です。</p>
会長	<p>今、そのお話がありました。少し整理します。約2,500万円の運用益による事業は、まだ予算化されていないのですか。</p>
事務局	<p>まだ、一般会計において予算化はされておられません。</p>
会長	<p>これは、補正で入れようというの。それとも、来年度からスタートするの。予算措置はどうする予定なのか。約2,500万円の運用益をどのような形で配分するかというようなことはするということで、これは、補正で処理しようとするの。それとも、来年度。</p>
事務局	<p>財政課との話では、20年度での補正でなく、なるべく年度当初での事業化ということで検討して欲しいとのことでした。</p>
土屋委員	<p>私、よくわからないのです。つまり、特例債という言葉で、合併には合併特例債というのと、県や何かからは、特例債の3分の2は借金ですから、3分の1は持ち出し、借金というのは、後で返すということですよ。国が当面出してくれるけれども、国が後で措置をするとか、いろいろ言われるけれども、借金には違いないのですよ。だから、やたらと使うなと言っているわけです。</p>
会長	<p>今話していることは、運用益をどうするかという話でしょう。</p>
土屋委員	<p>運用益の話の前に。</p>
山崎委員	<p>前は、前年度の2年間じゃないですか。</p>
土屋委員	<p>10億円ずつ貯金したから、運用益が出たわけでしょう。その10億円というのは、どこから金が出ているかを今特例債という言葉で……。</p>
山崎委員	<p>2年前のことを今ここで蒸し返しても……</p>
土屋委員	<p>2年前ではなくて、18年度、19年度で10億円ずつ……</p>
山崎委員	<p>今、20年度ですよ。</p>
土屋委員	<p>20年度以降に8億円、そこまでは合併特例法で認められている地域振興のための基金として貯金してもいいよと許されているわけですね。</p>
会長	<p>土屋委員、よくわかっていらっしゃるではないですか。</p>

土屋委員	いや、実はわかっていないのです。私は、当初はわかっていたのですが、ここへ来ると、しばらく時間がたって忘れたものは何ですかという と、合併特例債のほかに、県とか何から借金も何もしなくてただでくれる のがあるのです。合併を推進するために、合併がうまく成功するようにた だでくれるのは、何億と決まった額が交付されて、各市町村の規模によっ てあったのですよ。これも、私は記憶していないから、改めて確認して、 そういうものは、借金しなくていいのですから、もらえるだけもらえと役 場の財政課に行って言ったものなののですが。このことが書いていないの です。
会長	そのことはもう終わりにしましょう。その他に何かご意見がありましたら らどうぞ。
飯島委員	市役所の組織で、子育て支援課の中にこども園がありますが、これはど ういうふうになっているのでしょうか。
会長	わかる範囲で事務局お願いします。
事務局	担当課ではありませんので、簡単にはなってしまうのですが、基本的に 幼保一元化自体が、幼稚園事業と保育園事業は、それぞれ管轄が違ってい るのです。この部分の両方のいいところを合わせるような形で、1つの施 設の中で幼稚園事業もできるし、保育事業もできるような形の、そういつ た1つのシステムをつくり上げていくというのが幼保一元化という事業に なります。現在、幼保一元化事業、今までは幼保一元化推進室というよう な形の中で、その部分の構築をしていたところで、今年、20年度から実際 に幼保一元化の事業自体が実際の皆さんの市民の方々が利用できるような 形でスタートしました。それが、こども園という名前で事業化されていま す。
飯島委員	具体的に、どのようにスタートしたのですか。内容を伺いたい。
事務局	内容は、私が聞いている限りでは2種類あって、幼稚園をメインにした ような形式と、保育所をメインとしたもの、幼稚園の授業にプラスして、 時間外部分についての保育業務とか、そういったものを一緒にしたイメー ジです。
会長	もともと施設は、あったのですよね。
事務局	ありました。それぞれ保育園と幼稚園という別の施設であったのを、こ ども園として新たにシステムを構築したものとなっております。
飯島委員	最近の話ですと、幼稚園に延長保育を導入したものという……。
土屋委員	4月からスタートして、独立したこども園というものは、朝からこども 園であって、延長保育ではないですよ。詳しく知りたければ、松尾の I T保健福祉センターに子育て支援課がございますので、あそこに行けば、 みんな詳しく教えてくれます。これは、松尾と南郷にしかないのです。た だ、私が知らないのは、蓮沼の人が希望すれば、南郷なら近くの南郷、松 尾へ入学選考の募集があったわけです。それを我々蓮沼にしても……。
飯島委員	今の基金の運用、活用をやはり財政的にいって、この間も自治省が幼保

	<p>一元化により子育て環境が向上すると。かなり財政的にも厳しいから、もう少しプラスアルファ的な延長があればいいかなと。今、そういうことが必要でないかもしれませんが、もし、必要な状態でスタートしてやれば、基金の活用も回せるようなこともできるのではないのかと。</p> <p>そういう意味で、その幼保一元化の実現のために、中身の濃い充実した運営をしていただくには、もう少しお金がほしいのではと感ずるのです。</p> <p>ですから、この中身を詳しく知りたい。</p>
事務局	<p>詳細の部分については、私のほうで調べられますので、持ち帰らせていただきます。幼保一元化について、具体的にわかるような資料を用意するようにいたします。</p>
飯島委員	<p>次の審議会のときに、その資料と合わせてご用意いただければありがたい。今、土屋先生がおっしゃるように、松尾に行けばいいんですけれども、そういう訳にもいかないのでは……。</p>
会長	<p>それ以外にどうでしょうか。初めて審議会にご参加なされた皆さんの中で、1人ずつご意見をいただくというのは大変でございましょうから、何か、こういうことを進めたいということをお考えであれば、お話しをいただければありがたいと思います。</p>
土屋委員	<p>委員になられて、お心配りをいただいている点でも結構でありますから、こういうふうな地域審議会が取り上げてみたいというようなことがあるとしたら、そのことにもお心配りをいただけたらというふうに思います。何かありましたら、ご発言をいただければと思います。</p>
	<p>出張所長さんもいらっしゃるし、6名いらっしゃって、用事があれば、行けば、大体は済むのですが、これは本庁に行ってくださいというのがあります。出張所で知っていても、そこで説明するよりも、本庁に行って聞いてくださいと、電話してくださいと。そこで、蓮沼の場合は、一番そういう必要性を感じるのですけれども、私ども老人会に入って、皆さん、そんなに頻繁にあっちへ行くのはできないとか、電話をかけるのもちよつとという人も多いと思いますが、そういう場合に、役場に行った場合には、直接電話をすると、テレビ電話みたいに顔が映るのがあるじゃないですか。また、最近、携帯だって、そういうのがありますよね。そういう携帯だったらもっと安いと思いますが、それで、本庁の係、担当の人と直接そこで話ができると。こういうふうにしてもらえると、そういうお金はかかりますよ。ですけれども、成東、山武のほうはいいのだけれども、松尾、蓮沼はまだかもしれませんが、全部テレビ電話がつながるかもしれませんし、また、携帯はできていますから、そういうようなことも利用して、もっと声を、私どもがいろいろ聞いて、ここで訴えることも決めて要望するのもいいのですけれども、直接、もっと市民の蓮沼地区の皆さんが話に出たことをだれか代表して、区長さんとかリーダーが直接、お話ができると。こういうことが出張所でやらない仕事は、そっちへ行つてと言われても大変だから、そういうことを考えていただければと。お金は、私も試算</p>

会長	<p>したわけではないから、どのくらいかかるかはわかりませんが、ありがとうございます。そのことは、これから検討をしていきたいといふふうに思います。</p>
秋葉委員	<p>ほかにご意見がありましたら、どうぞ。</p> <p>本日いただいた資料がありますけれども、要するに、地域審議会の位置づけといったものが、市長の諮問に応じてといった場合、ここでこういう意見交換がどのようなものなのか、総合計画は市長から出され、諮問されて我々は検討したのですけれども、個々のそういう問題についても、その中に項目があるから、すべてこういうところに出てくる問題も拡大解釈しても、総合計画の中の各事案の中の1つだというふうにして、こういうところでしていいものなのか、単なる諮問されたことについて審議するものなのか、その辺のところの確認をしたいというところですが、みなさんの意見を聞いてからということでおねがいしたい。</p>
会長	<p>それでは、金杉委員さん何かご意見ありますか。</p>
金杉委員	<p>私は、特にありません。</p>
会長	<p>川島委員はどうですか。</p>
川島委員	<p>特にないです。</p>
会長	<p>森口委員さん</p>
森口委員	<p>ありません。</p>
会長	<p>山崎委員さんはどうですか。</p>
山崎委員	<p>今、秋葉委員さんからお話が出たのですけれども、やはり、この審議会の位置づけですか。それと、傍聴の方が20人ぐらいまでは入れるということなのですけれども、こういうことがあることも地域で知らない方がたくさんいますので、やはり、その辺のPRといったら極端ですけれども、もう少し周知というか、こういうものがあるのだよというぐらいは、やはり知らしたほうがいいのではないかとは思っていますよね。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
藤井委員	<p>藤井委員、どうですか。</p> <p>先ほど、秋葉委員のほうからご提案がございました。市長の諮問に応じてというようなこと。これは、私もその点は十分悩みました。いろいろな県だとか、そういう行政等に行ったりしまして、私が見たところは、確かに、そういう決定があるからということで、地域によっては、市によっては、審議会ではなくて、地域会という名前にして、地域から起きた問題をすべてその地域会の中で審議するのだというふうに変更しているところがたくさんありますというふうな、これは自治省の話です。確かに今、先ほど言いましたように、秋葉委員のご提案は、まさしくそうなのです。本当に私も、どこまでやったらいいのだろうか。そういう問題に必ずぶつかるのですよ。ですけれども、ここに「市長の諮問に応じて」という言葉がございました。そうすると、枠が非常に狭まれます。ですから、形骸化されないような形をとるべきだと思います。地域会だとか、そういうところは、</p>

<p>会長 土屋委員</p>	<p>やはり、我々の地域で起きる問題を取り上げるのだというふうな、そういう形をとらざるを得ないのではないかなと私は思います。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今の2つに関連しているので、これについて、一応、位置づけということについて、資料1の説明が先ほどありました。やはり、初めてお聞きになる場合は、ピンと来ないところが多いと思いますが、これは、合併特例法の中で地域審議会について規定して、下のほうに書いてあります。ページが打っていないけれども、資料①です。</p>
<p>会長</p>	<p>こう書いてあります。諮問に応じて審議し、次ですよ。または必要と認める事項につき、新市の市長に意見を述べる機関と、こっちの部分と2つあるのですよ。最後の図を見てください。この図にも2つ書いてあるのですよ。</p>
<p>石橋副会長</p>	<p>土屋委員、貴重な時間を使っていますので……。</p> <p>諮問は、総合計画で諮問を受けているわけです。もう一つの部分である市長に意見を申し上げているところで意見書をという形で提言をしたわけですから、市長のほうからこのことはどうでしょうかという提言がない限り、私どもはできないわけですから、それは、ですから、市長のほうから積極的にこういうことについて審議をしてくださいというお話があったときに、それは、私どもはもちろんこの中で応じなければならないわけですが、私は、この会議の運営について言えば、市長からそのことがあったときには、それはもちろんいたします。</p> <p>しかし、もう1点の第2項のほうにある地域の問題について、私どもがどう市に提言していくかということについて、私どもが力を奮えばいいだろうというふうに考えて、多分、使命も、そこにあるというふうにそういう考えでいきたいというふうに私は思っております。ですから、農業集落排水の問題にも果敢に取り組んでいかなければならないということです。</p> <p>もし、何かご意見がありましたら。</p> <p>今の件で、会長さんが言っていたのですが、先ほどの土屋総務部長さんの説明していただく中で、こういう言葉がありました。今、会長がおっしゃったように、市長からの諮問、これに対して我々が答申すると。これが第1点です。</p> <p>それから、今、会長からおっしゃったように、我々の審議会からの意見を提出するのだと。そういうことも重要な案件だということで、土屋総務部長さんが述べていたと私は記憶していますので、それも、本当に公式な件として残させていただくのは、本当に、今までも会長さんがおっしゃるように、何度か意見書を提出していただいたんですが、これが非常に大きな要因ではないかというふうに私は考えております。</p> <p>それから、もう1点は、先ほど秋葉委員からもございましたように、こ</p>

の地区の、やはり皆さんの意向というものはどういうものかというのを取り入れて、我々委員が合意した上で、こういう形で意見をまとめたいというようなことがまとまったならば、ぜひそれも必要なのですが、それで、もう一つ、前提として、地区の議員さんがいるわけです。議員さんというのは、非常に権限をお持ちになって、事業を実行するための力をお持ちなのです。私たちは、法律的な裏づけがあるにしても、議員さんから見ると、権限的には非常に法的には特に拘束力はないわけですがけれども、地域住民の声としては聞いてもらうわけですが、ですから、そういう意味で、議員さんと一体化した方向性といいますか、ベクトルを同じ方向にすることとは非常に重要な案件ではないかなということ、これから皆さん方とともに、そういういい方法が見出せるならば、議員さんの方向、私たちの気持ちが一一致したことが一番望ましいわけで、そういう方法が何らかの形で実現できればなど。私は、前回からもそういう考え方を持っていましたので、その辺もあわせて、皆様方に検討していただいたらどうかなと思います。

以上でございます。

会長

ありがとうございます。今、石橋副会長からお話がありました議員の皆様との交流についてでありますけれども、私たちが議論していこうとしている農業集落排水の問題がかなり具体化してきて、スタートしようというようなことになるとすれば、当然、議員の皆さんと意見を交換していくというような作業が必要になってくるだろうというふうに私も考えております。ですから、そのことは、もうしばらくしてお任せをいただくということで、判断を私に任せていただきたいと思います。

そのことがあって、前に進むというようなことになるとすれば、それはもちろん協力していかなければならないし、その意思として、市長に確認する段階でそのようなことが必要になってくるはずだというふうに思っておりますので、私どもが何をしようかというような具体的なものを持たない。

土屋委員

藤井先生が言ったことと同様に、今、このページにあって、土屋総務部長がそれを説明したと。この2つを石橋さんがおっしゃいましたけれども、必要と認める事項について述べるというふうに、はっきりとこれは合併特例法に載っていて、私たちは、地域審議会というのは、合併協議会で地域審議会を10年間、この合併では設けるかどうかを協議し決定したわけです。そこで、成田では、編入合併をする際に、地域協議会というものを立ち上げて、私たち、あれは本に書いてあるのを読めば、予算もついて、自分たちでお金を使って運営をしていくことができるという地域審議会より高度な合併に伴う地域の声を吸い上げる制度があったわけです。

ところが、成田市長が汚職で退職しました。あの人がそんなものは要らないのだということを書いて立候補して、議会もそれを認めて、成田では、地域審議会も地域協議会もなくなってしまった。全国で地域審議会が

<p>会長 土屋委員</p>	<p>あるところとないところがあるという事実も知ってはいけなく てはいけないと思います。それは後で調べてもらいます。何% とか、どこどこがあって、どこがないか。やはり、そういうこと をはっきり文章でうたってあって、合併の特例法で認められる からやっている。 お願いだから、ちゃんとした議論しましょうよ。 議論じゃなくて、そういう法律に基づいてやっている会なのに、 そういうことがよくわからないまま参加してはしようがないから、 私はあえて、そのことを皆さんにお知らせして言っているわけ です。</p>
<p>会長 秋葉委員</p>	<p>初めにそういう説明がもう少し詳しくあればいいんだけども、 時間がないから、土屋総務部長も……。 ほか、どうぞ 1つお願いがあるのですけれども、今、情報の公開とスピードと いうことが当然のことだと思うのですけれども、議事録をせっか くとしているのですけれども、これがまた公開されるまでに、全 部一語一語大事だと思うのですけれども物すごい量で、ホーム ページ上にアップまでに次回の審議会の直前に出てくるという 感じで、せっかくご審議して、先ほど、山崎委員からありました ように、もう少し簡潔に、我々プロではありませんから、進め方 の骨子だけでも出すとか、全部ああでもこうでもない、そのま ま訳されてウェブ上に公開されるわけです。そうすると、非常 にプロフェッショナルではないので、私たちが言いたいことま でも、そのときはいいけれども、だんだん前後の脈絡がつか ないときも、自分でこんなことを言っは恥ずかしいのです けれども、それほど一言一句公開しなければいけないものな のか。こういう意見が出たという箇条書きという形で、もう 少し早くという意味では、言った趣旨だけがずれていなければ いいのかなというふうに私は思うのですけれども、それでな ければ、もう少し外注先を変えるぐらいにして、もう少し スピードアップもほしいなというのが実態です。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>事務局どうですか。簡単なもので議事録は済ませられない のですか。 事務局側の趣旨としまして、要約させていただきますと、事 務局側の意思が入ってしまうので、本来の委員さんの意思と 変わってしまう場合もあるのですね。それで結局、そのよう にならないようにということで、全て載せる形で行って おります。 だけれども、これまで、幾度か意見がありまして、やはり、 要約のような形で、あとは、署名委員さんのほうがしっか り責任を持っていただくこと。あと、蓮沼地区だけ、それ をやるというわけにはいかないの、各地区全部同じよう な形で整えていただきたいと思います。なので、6月に会 長、副会長会議がございますので、その中で最終的に決 定をしていただければ、ありがたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、時間が来ますので、私のほうから2点事務局 にお尋ねをいたしたいと思います。</p>

まず、今後の山武市の向かう方向について、いろいろな討議の仕方があると思うのですけれども、今、山武市が始まってからおよそ200億円の予算規模で動いています。これは、将来にわたってもこれを維持するというのはできないというふうに思っていますか。つまり、今年度の予算で言えば、基金からの取り崩しや公債費やなんかがありますが、そこら辺のところは、将来にわたって、どのぐらいのイメージで予算の規模というのか、山武市のスリム化を図っていこうとしているのかという予算のところから見えていくというのが1つ。

それから、職員の数をスリムにしていくというのも市長の公約の中にあるわけですが、私なんかは今見ていると、退職者と新採用の割合でいくと、かなり絞り込んでいることは見えるのですけれども、そこら辺のところは、将来にわたってどんなふうに具体的にになっているのかということですか。

それとあと、成東病院の独立行政法人化がどんな時期にスタートしていったら、それが名称はまた変わっていくのか。あの東金にできる病院との関連で、成東病院の呼称がどうなっていくのかということについて、わかっていることがあったら。この3件です。

まことに申しわけないのですが、資料がないので具体的な数字というのが出せないのですが、一応、最初に言った200億円について、将来的にどういうふうな形で考えていくのかということなのでは、私が1つ聞いているのは、東金市の予算が目安となっていると、東金市の予算は、コンパクトであり、約150億円ぐらいだったと思います。東金市の人口の規模と同じなのに、これが山武市は合併して200億以上ということなので、とりあえず、当面はそれを目指しますということは、私は聞いております。

一応、そのような形であったと。この部分については、計画を立てながらやっていきますので、今回も予算編成の中で、一番膨れ上がっているのは公債費ということですが、それは何かというと、借金返済のための先送りをしないで、なるべく前倒しで返済しているということであり、将来的な部分の負担を減らしているというふうな解釈をしていただきたい。前年度と全体では、同じ規模であったとしても、実質の事業費を見ていただくと、規模が縮減されていることがわかるかと思いますが、そういう視点でお考えいただければ、ありがたいのかなと思います。

次に山武市の職員数についてですが、今現在、500人の職員がいます。これを最終的には、350人体制へというふうに聞いております。この部分については、山武市が合併した当初に、集中改革プランというのを定めておまして、その中で人件費の抑制とか、先ほどもご説明した予算的な事業規模の縮小とか、そういったところの部分について、ある程度の目標値を立てて、その計画に向けて進んでいるところです。

今現在、その職員、退職者と採用者の数に大きく差があります。退職者がこの間は確か27名という中で、採用者が2名と記憶していますが、そう

事務局

というような形で進めて、退職者を増やすことで、早期退職者とか希望者を募りながら、ある程度、職員数の削減を図っていく予定でいます。

最後に、成東病院についての独立行政化については、市とは別の機関になりますので、病院自体が進めているのですが、それに対して、市においても調査、サポートをする形で、担当を置いております。成東病院でも、今の現況をやはり改正しなければいけないということで、健全な経営ができるような形を保てるように試行錯誤しているところと聞いておりますので、今後の方向性というのは、今現在、模索している状態ではあると思うので、はっきりとどういうふうになりますということは申し上げることはできないのですけれども、また、先ほど、会長から言われていました東金のほうで医療病院のほうも計画がされているところだと思いますけれども、当然ながら、その影響についても、どういったことが関連性を持っているのか、行政的な部分でどういうふうなところがあるのかというのは、いろいろと研究とか分析なりをかけて、今後の方向性を見出していくところであろうと思いますが、私からは、この程度のご説明で申しわけないのですけれども、ご了承願いたいなど。

会長

ありがとうございます。

はい、飯島委員。

飯島委員

やはり、これは医師の問題もあるかと思うのです。やはり、地域の循環型の、民間、開業医と連携をしていかないと、なかなか難しいのではないかと。大きい病院でできるものと、それから開業医でできるものがあるのでは、そういった問題も患者さんも役割を分散していかないと、病院経営はできないのではないかと。患者を1から10まで診るというのは、やはり、これからはできないのではと、考え方を変えていかないといけない。

土屋委員

今度の予算のことで、皆さんは、これを見ているわけですよ。209億円ほどこ中で、東金市が150億円という計画はわかりますよ。何で東金市のほうが収入とかがあって、商工業が少ないとしても、収入が多いわけですが、その場合は50年前の合併以来、どんどん出張所をつぶしてきて、東金に統合、集中しているわけですね。こっちは既存の各出張所とか建物はあるわけですから、その維持管理費とか出張所のほうの皆さんがいい悪いではなくて、そういう経過的なものでどうしてもお金がかかるということは理解しなくてははいけないし、また、これはどのようにしていったらいいかというのは、急速にそれをなくしては困りますから、やはり、皆さん、だから、お金は当然かかるから、もちろん、それに伴ったお金は国からも援助があるわけですから、その辺のことは、よくまた……。

それと、もう一つ気になるのは、私は、議会のたびに議会傍聴に行くのですけれども、皆さんは、ほとんどおいでにならない。これでは、議会との関係を言われても困ってしまうのではないか。議決は、やはり議会が決定するのですよ。我々のほうは、あくまでも意見、答申を、市長がそうだと思って提案する。それを議会が議決するということになって、議会が賛

	<p>成しなければ、市長もどんなこともできないわけです。そういうことは決まりきっていることですから、もっと議会にも傍聴に、お忙しいとは思いますが、おいでいただいたらいいのではないかと。</p> <p>それから、皆さん、国会ってテレビで話題になっていますよね。一般会計予算が映されている。特別会計もいっぱいあるじゃないですか。119億円。200億円と119億円、半分以上は特別会計に出ている。これも問題にしていかなければ、私たちもいけない。119億円だって出ているわけですよ。その辺が私たちも、例えば、国民健康保険特別会計というのは64億円。私は不勉強で、これは、私たちが払うお金も含まれているのだろうなと。普通の税金だけから出ているのではなくて、国保税も入って、これだけそこに会計が出ている。その辺が常識かもしれないのですけれども、もうちょっと詳しく勉強して、丁寧に教えてもらわなくてはいけないなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、時間がまいりましたので、私のほうから確認させていただきます。</p> <p>第1点は、飯島委員からの前回からの農業集落排水について、平準化して行うということです。よろしく願いいたします。</p> <p>それから、皆さんからご意見をいただきました中で、議会との話し合いを持ったほうがいいだろうということでもあります。これは、農業集落排水が煮詰まった段階で、多分、話し合いをしなければならないというふうなことになるだろうと思っております。</p>
	<p>それから、この審議会の議事録を要約ではどうかというようなことについては、この次の会長副会長合同会議で、事務局で議題にしておいていただけますね。そのような形でお願いをいたしたいというふうに考えております。</p> <p>それから、土屋委員がすばらしいご提案をなさいました。テレビを使って、出張所と本庁とのやりとりをしたらどうか。これはもしかしたら、検討に値するヒントであるかなと。なかなか大変であろうかと思っておりますけれども、その辺もちょっとお考えをさせていただいて、どうかなと感じています。大体このことについて、ご議論いたしました。ありがとうございます。それでは、本日の会議はこれにて終了とさせていただきますが、よろしいですか。</p>
<p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>すいません、先ほどの6月の終わりか7月の頭にやる勉強会は、時間的には夜でよろしいですか。</p> <p>はい。</p> <p>わかりました。ありがとうございました。</p> <p>それでは、よろしいでしょうか。</p> <p>これにて、会議を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>